

風邪や花粉症の薬代が30倍に！？

#OTC 類似薬の保険外しに反対します

自民党、公明党、日本維新の会は、国の医療費の4兆円削減で合意。その中には「75歳以上の窓口3割負担」「病院11万床削減」に加えて、OTC類似薬を保険から外す計画も入っています。国民民主党も「賛成」を表明しました。

「現役世代の負担軽減」「財政を立て直す」ためと言いますが、高齢者も現役世代も、多くの人が必要とする薬を、何十倍もの値段で自己負担させる…国民の命と健康を切り捨てる冷たい政治を、このままにするわけにはいきません

※OTC 類似薬

ドラッグストアで市販されている一般の医薬品と類似した薬のことです。処方箋をもらって薬局で購入しますが、保険が適用されるため一般薬より安く抑えられています

有効成分	単位	価格		
		現在の自己負担額		保険適用なし メーカー希望小売価格（税込み）
アセトアミノフェン（解熱鎮痛薬）	1錠（300 mg）あたり	1.8 円	▶49 倍	88.9 円
ファモチジン（胃酸分泌抑制薬）	1錠（10 mg）あたり	3.0 円	▶60 倍	179.7 円
フェキソフェナジン（花粉症薬）	1錠（60 mg）あたり	3.0 円	▶34 倍	103.2 円
ロキソプロフェンナトリウム（湿布薬）	1枚（50 mg）あたり	3.6 円	▶38 倍	138.3 円
葛根湯（漢方薬）	1錠あたり	1.2 円	▶23 倍	27.1 円

日本総研 2025 年 2 月 5 日「医薬品『零売』規制の妥当性を問う」から

石破政権が狙った高額医療費の負担増は、世論と運動で「凍結」させました。ごいっしょに力を合わせて医療大改悪を止めましょう。日本共産党は高すぎる窓口の軽減、無料化をすすめます